

News Release

2019年 9月 2日

NTT東日本 埼玉事業部

災害時等の重要な通信手段「災害用伝言ダイヤル“171”」を体験！

～ 防災関係機関と連携して「九都県市合同防災訓練」に参加し、
通信設備の応急復旧訓練等を実施しました ～

NTT東日本 埼玉事業部（取締役 事業部長 榊原 明）は、「第40回九都県市合同防災訓練（主催：埼玉県・和光市／さいたま市）」に参加し通信設備の応急復旧等の実動演習を行いました。

また、緊急時の通信手段として、災害時用公衆電話および災害用伝言ダイヤル171^{※1}の体験コーナーを設置しご来場の皆さまに体験いただきました。

NTT東日本は、予期せぬ大規模な災害に備え、「通信ネットワークの信頼性向上」「重要通信の確保」「サービスの早期復旧」を災害対策の基本方針としてさまざまな対策に取り組んでいます。

※1 地震、大雨などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。

概要については、NTT東日本ホームページをご確認ください。

(URL <http://www.ntt-east.co.jp/saigai/voicel71/index.html>)

1. 九都県市合同防災訓練への参加スケジュールおよび会場

(1) 埼玉県会場（主催：埼玉県・和光市）

日時：2019年8月31日（土） 8：00～15：00

場所：和光市役所周辺、市内各所

(2) さいたま市会場（主催：さいたま市）

日時：2019年9月1日（日） 9：30～12：30

場所：岩槻文化公園

2. 参加内容

(1) 防災体験訓練（埼玉県会場）／ライフライン応急復旧訓練（さいたま市会場）

臨時の電話回線の提供が可能な「ポータブル衛星車（衛星通信移動無線車）」による災害時用公衆電話設置訓練を実施

(2)防災フェア（埼玉県会場／さいたま市会場）

災害用伝言ダイヤル「171」のPRおよび啓発ツール「公衆電話くん」「ビッグテレホン」を利用した体験コーナーを設置

※家族間等で「伝言」を伝える際のポイント（「家族の安否」、「避難の有無または避難場所」、「支援の必要性」等の連絡事項を事前に決めておくこと等）、安否確認の円滑なやり取りが可能となる方法をお伝えしました。

(別紙)

【ポータブル衛星車による訓練 風景】



【特設公衆電話の体験】



【災害用伝言ダイヤル「171」体験】

